

鳥取大学 データサイエンス教育プログラム

令和 6 年度自己点検・評価

《履修状況》

令和 6 年度履修者、修得者数（再履修者含む）

	入学 定員	収容 定員	2 科目 履修者 数	令和 6 年 度 2 科目 修得者数	令和 5 年 度 2 科目 修得者数	令和 4 年 度 2 科目 修得者数	令和 3 年 度修了者 数	修了率
地域学部	170	680	185	159	165	165	156	95%
医学部	265	1292	266	263	271	264	185	76%
工学部	450	1800	478	411	409	401	405	90%
農学部	255	1090	265	235	250	246	230	88%
総計	1140	4862	1194	1068	1095	1076	976	87%

2 科目履修者数＝「情報リテラシ」と「データサイエンス入門」の 2 科目履修者数

修了率＝令和 3～6 年度 2 科目同時修得者数総計／収容定員

《総評》

令和 6 年度、実施 4 年目の「データサイエンス教育プログラム」は、全学部での収容定員に対する修了者数の割合は 87%となった。また、令和 6 年度前期「授業アンケート」の結果、満足できるという回答は「情報リテラシ」では全学部総計で 84%、「データサイエンス入門」では 81%であり、授業内容を十分理解しているという回答は「情報リテラシ」、「データサイエンス入門」共に 75%以上となった。

全学共通科目（入門科目）「データサイエンス入門」については、今年度も独自に受講前後のアンケート調査（以下の事前アンケート、および事後アンケート）を行った。その結果、データサイエンスに関する関心の肯定的回答は受講前後で 64%から 62%へと微減であったが、「大いに興味がある」との回答は 13%から 16%へと増加し、社会におけるデータ・AI の活用に関する認識について「活用例を聞いたことがある」というレベルの学生の割合が 50%から 39%へと減少し、「活用例を詳しく説明できる、並びに簡単な説明ができる」という学生が 47%から 61%に増加しており、また、データサイエンスに関する知識・理解度に対する重要性について「必要不可欠である」との回答は 48%から 54%と増加した。これらのことから、本プログラムはリテラシーレベルの教育として効果があったと判断される。

令和 6 年度授業アンケート（一般）

設問 8：全体としてこの授業は，満足できるものでしたか

設問 11：あなたは，これまでの授業内容を十分理解していますか

に対して，回答選択肢

1: 全くそうではない，2: そうではない，3: どちらとも言えない，4: そのとおりだ，

5: 全くそのとおりだ

のうち，「4: そのとおりだ，5: 全くそのとおりだ」を選択した回答数，および回答率

情報リテラシ

時間割コード	クラス	開講時期	履修人数	回答者数	設問 8 (4,5 回答数)	設問 8 (4,5 回答%)	設問 11 (4,5 回答数)	設問 11 (4,5 回答%)
AG20010001	01	前期	72	54	41	76%	43	80%
AG20010002	02	前期	58	49	47	96%	40	82%
AG20010003	03	前期	67	60	52	87%	40	67%
AG20010005	05	前期	83	79	73	92%	69	87%
AG20010006	06	前期	83	76	69	91%	64	84%
AG20010007	07	前期	65	61	50	82%	50	82%
AG20010008	08	前期	66	55	48	87%	43	78%
AG20010009	09	前期	80	34	27	79%	24	71%
AG20010010	10	前期	80	31	21	68%	13	42%
AG20010011	11	前期	56	53	50	94%	45	85%
AG20010012	12	前期	54	46	27	59%	29	63%
AG20010013	13	前期	69	52	44	85%	37	71%
AG20010014	14	前期	68	48	30	63%	35	73%
AG20010015	15	前期	67	66	64	97%	52	79%
AG20010016	16	前期	67	64	60	94%	57	89%
AG20010017	17	前期	84	65	47	72%	44	68%
AG20010018	18	前期	67	66	60	91%	50	76%
AG20010051	51	前期	100	93	76	82%	52	56%
総計			1286	1052	886	84%	787	75%

データサイエンス入門（時間割コード：AG26010000，開講時期：前期）

履修人数	回答者数	設問 8 (4,5 回答数)	設問 8 (4,5 回答%)	設問 11 (4,5 回答数)	設問 11 (4,5 回答%)
1219	710	578	81%	541	76%

「データサイエンス入門」事前・事後アンケート結果（令和 6 年度）

事前アンケート設問・回答選択肢

1. 「データサイエンス」という分野に対して関心はありますか
 - 大いに関心があり学習したい
 - 少し関心がある
 - あまり関心はない
 - 全く関心はない
2. 社会の様々な分野でデータ・AI が活用されていることについて、どれくらいの認識がありますか
 - 活用されている例を挙げて詳しく説明できる
 - 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる
 - 活用されている例について聞いたことがある
 - 活用されている例は知らない・聞いたことがない
3. データサイエンスに関する知識・理解はあなたの今後の進路（専門分野・進学・就職）においてどれくらい重要だと思いますか.
 - 必要不可欠であると思う
 - 必要不可欠ではないが役に立つと思う
 - あまり関係ないと思う
 - 分からない

事後アンケート設問・回答選択肢

1. この授業を終えて、「データサイエンス」という分野に対する関心は変化しましたか。現在の考えに最も近いものをお選びください。
 - 大いに関心があり，さらに学習を進めたい
 - 関心がある。機会があれば学習を進めてもよい
 - 少し関心がある
 - 関心はない
2. 社会の様々な分野でデータ・AI が活用されていることについて、どれくらいの認識がありますか（事前アンケートと同じ設問・選択肢）
3. データサイエンスに関する知識・理解はあなたの今後の進路（専門分野・進学・就職）においてどれくらい重要だと思いますか。（事前アンケートと同じ設問・選択肢）

○ 回答回収率（全学）

令和6年度 事前アンケート：98%，事後アンケート：91%

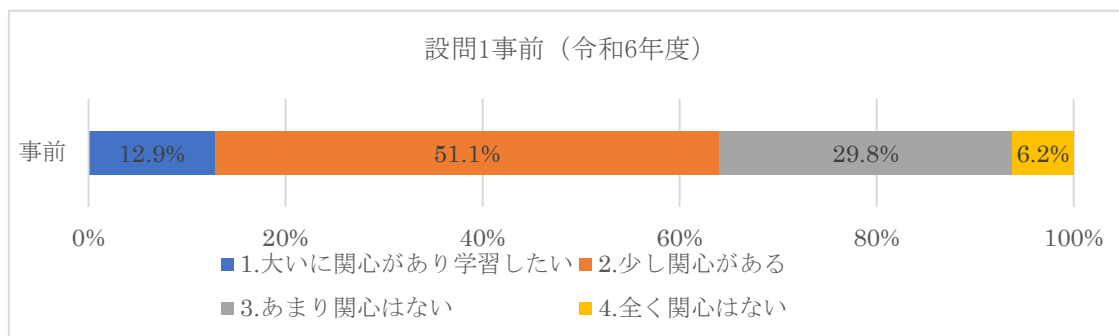
設問1. **（事前アンケート）**「データサイエンス」という分野に対して関心はありますか

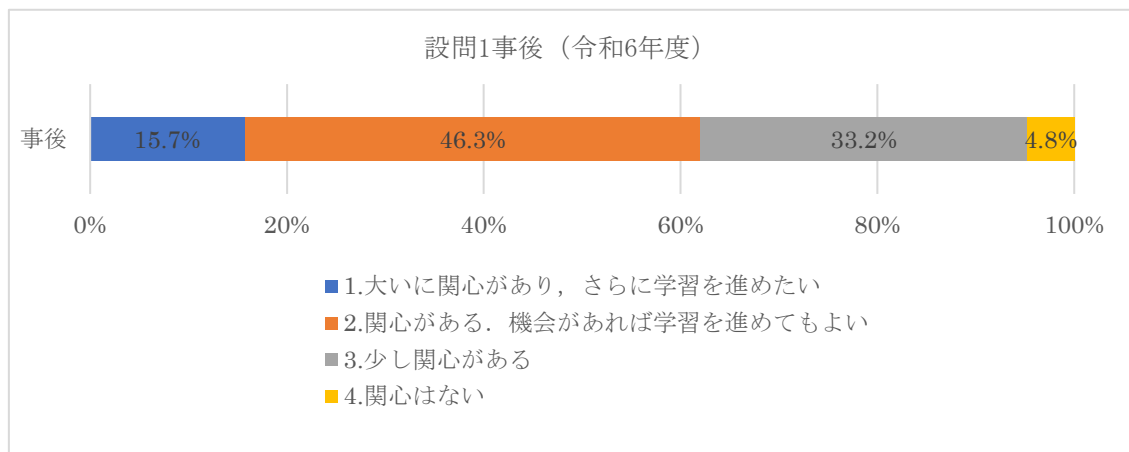
設問1. **（事後アンケート）**この授業を終えて、「データサイエンス」という分野に対する関心は変化しましたか. 現在の考えに最も近いものをお選びください.

事前	1. 大いに関心があり学習したい	2. 少し関心がある	3. あまり関心はない	4. 全く関心はない
	12.9%	51.1%	29.8%	6.2%
事後	1. 大いに関心があり、さらに学習を進めたい	2. 関心がある. 機会があれば学習を進めてもよい	3. 少し関心がある	4. 関心はない
	15.7%	46.3%	33.2%	4.8%

○ 回答の選択肢が異なるため、事前・事後の単純な比較はできないが、肯定的な回答の割合（選択肢1および2の回答割合）は、事前64.0%→事後62.0%となった.

一方、「大いに関心があり学習したい」（選択肢1）学生は、事前12.9%→事後15.7%のように増加している.

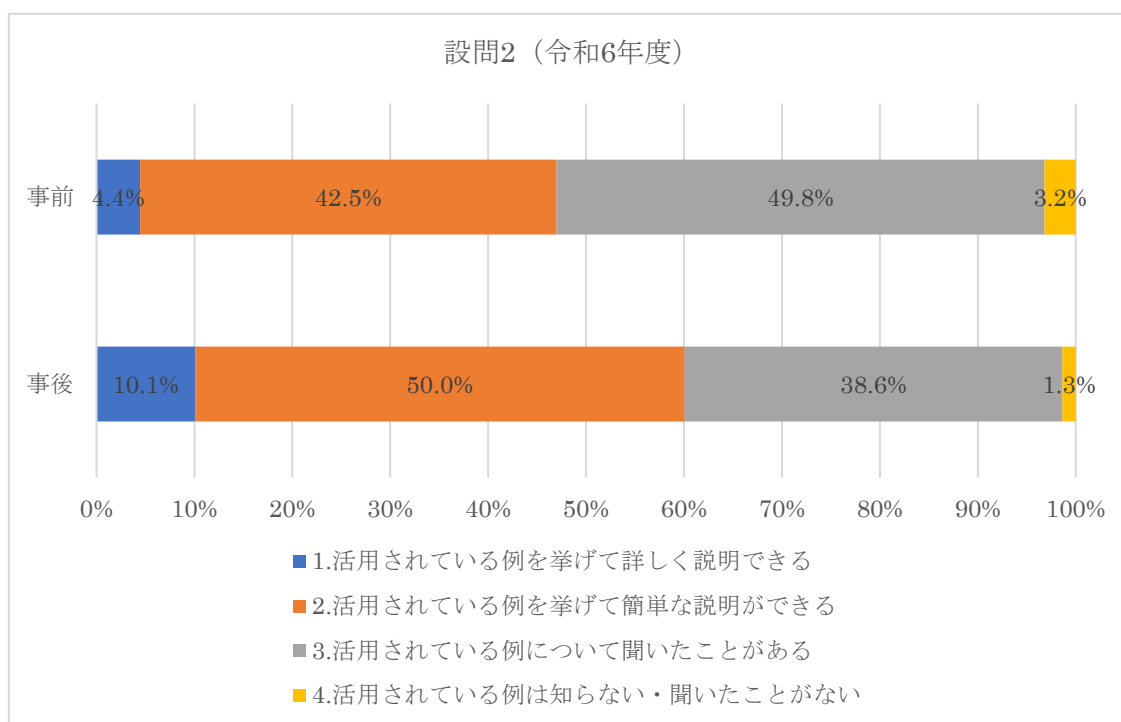




設問 2. (事前・事後共通) 社会の様々な分野でデータ・AI が活用されていることについて、どれくらいの認識がありますか。

	1. 活用されている例を挙げて詳しく説明できる	2. 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる	3. 活用されている例について聞いたことがある	4. 活用されている例は知らない・聞いたことがない
事前	4.4%	42.5%	49.8%	3.2%
事後	10.1%	50.0%	38.6%	1.3%

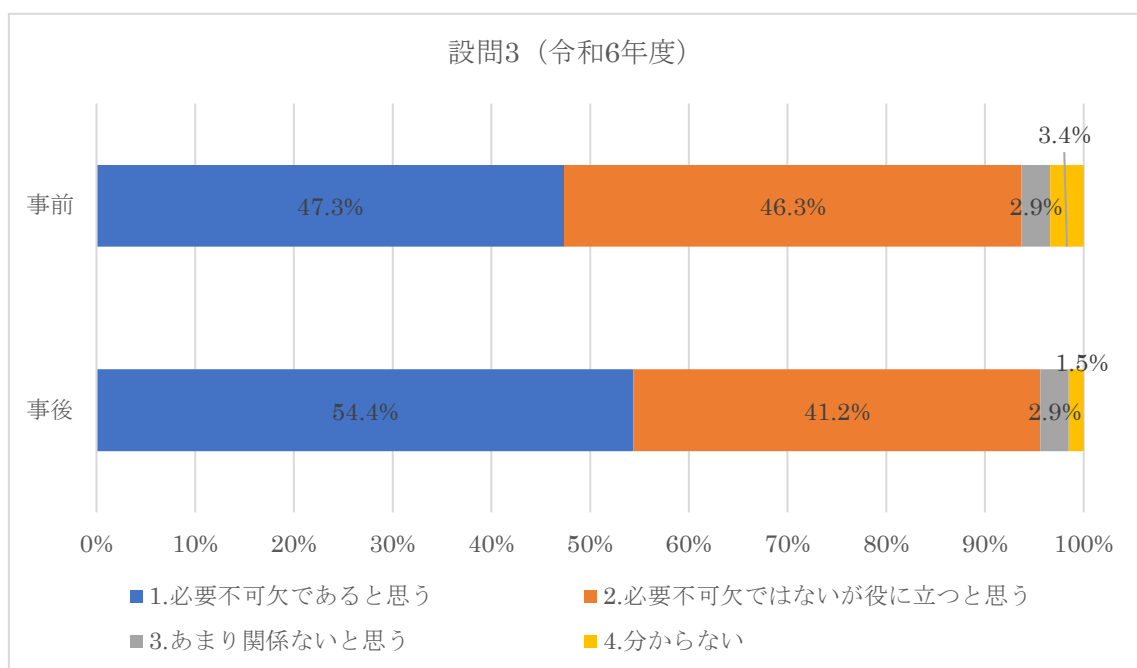
○ 社会におけるデータ・AI の活用についての認識では、肯定的な回答（「詳しく説明できる」および「簡単な説明ができる」）の割合は、事前 46.9%→事後 60.1%のように増加した。そのうち「例を挙げて詳しく説明できる」回答は、事前 4.4%→事後 10.1%へ、「簡単な説明ができる」回答は、事前 42.5%→事後 50.0%へ、共に増加している。



設問 3. **（事前・事後共通）** データサイエンスに関する知識・理解はあなたの今後の進路（専門分野・進学・就職）においてどれくらい重要だと思いますか。

	1. 必要不可欠である と思う	2. 必要不可欠ではな いが役に立つと思う	3. あまり関係ないと 思う	4. 分からない
事前	47.3%	46.3%	2.9%	3.4%
事後	54.4%	41.2%	2.9%	1.5%

○ 肯定的な回答（選択肢 1 および 2）は、事前 93.6%→事後 95.6%だった。
このうち「必要不可欠であると思う」回答は、事前 47.5%→事後 54.4%のように増加した。
また、「分からない」回答は、事前 3.4%→事後 1.5%のようにやや減少した。



アンケート結果・学部別集計

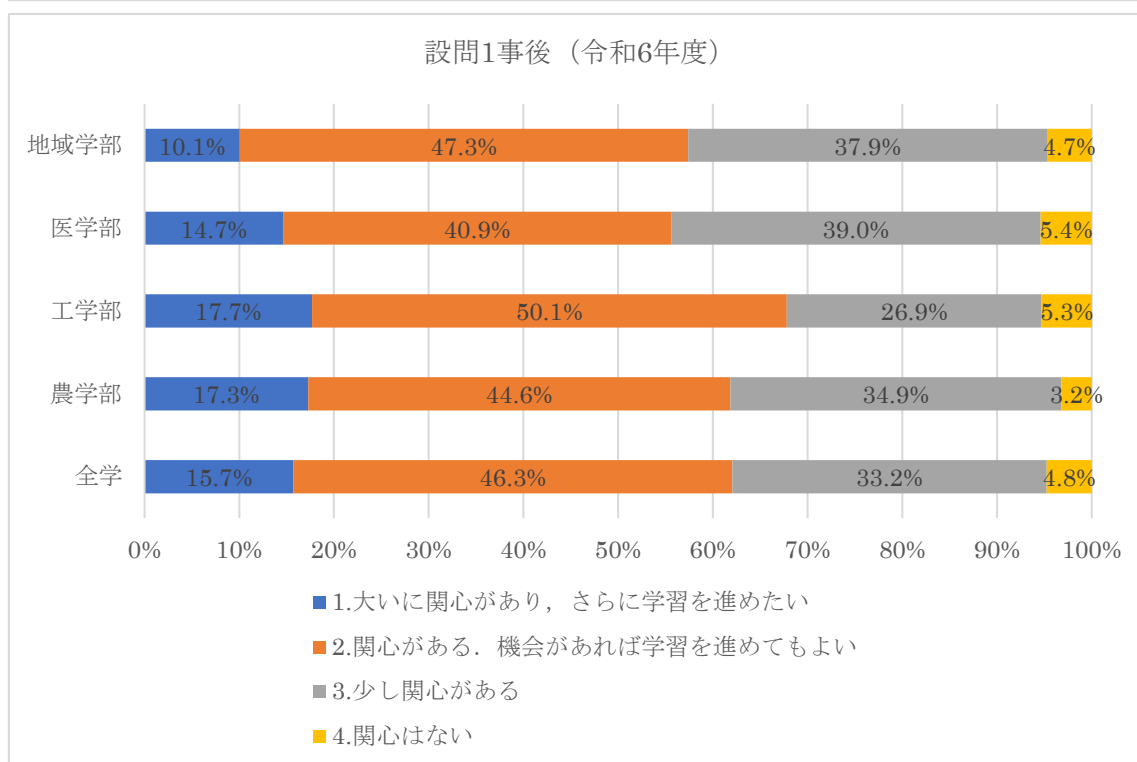
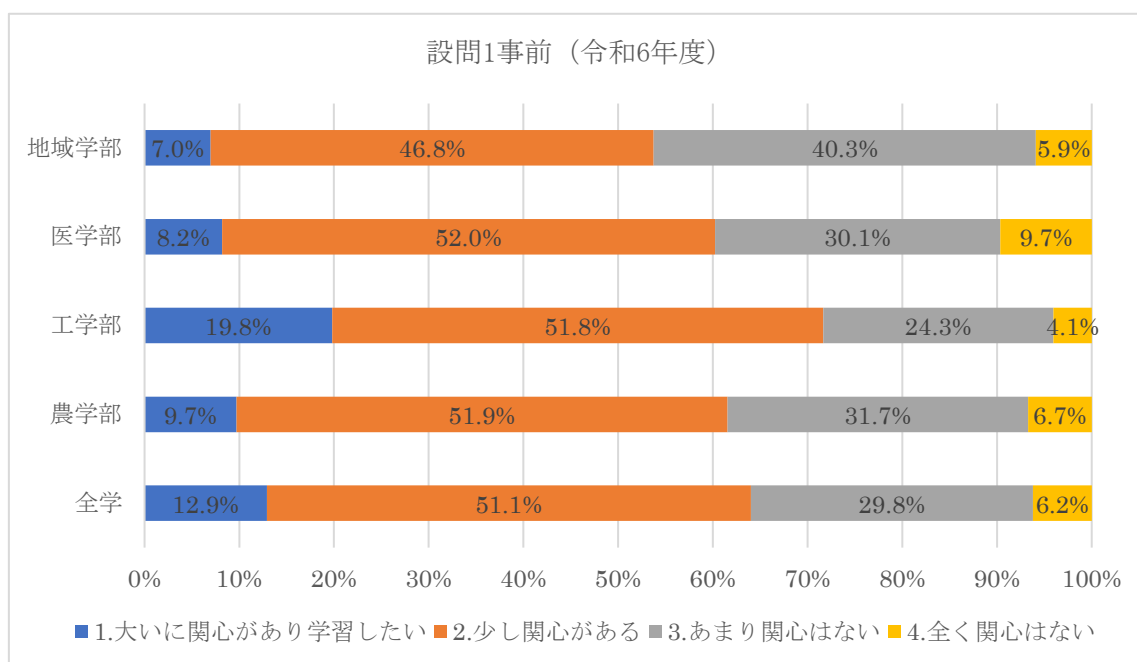
設問 1.

【設問 1 事前】

	1. 大いに関心があり 学習したい	2. 少し関心がある	3. あまり関心はない	4. 全く関心はない
地域学部	7.0%	46.8%	40.3%	5.9%
医学部	8.2%	52.0%	30.1%	9.7%
工学部	19.8%	51.8%	24.3%	4.1%
農学部	9.7%	51.9%	31.7%	6.7%
全学	12.9%	51.1%	29.8%	6.2%

【設問 1 事後】

	1. 大いに関心があ り、さらに学習を進 めたい	2. 関心がある、機会 があれば学習を進め てもよい	3. 少し関心がある	4. 関心はない
地域学部	10.1%	47.3%	37.9%	4.7%
医学部	14.7%	40.9%	39.0%	5.4%
工学部	17.7%	50.1%	26.9%	5.3%
農学部	17.3%	44.6%	34.9%	3.2%
全学	15.7%	46.3%	33.2%	4.8%



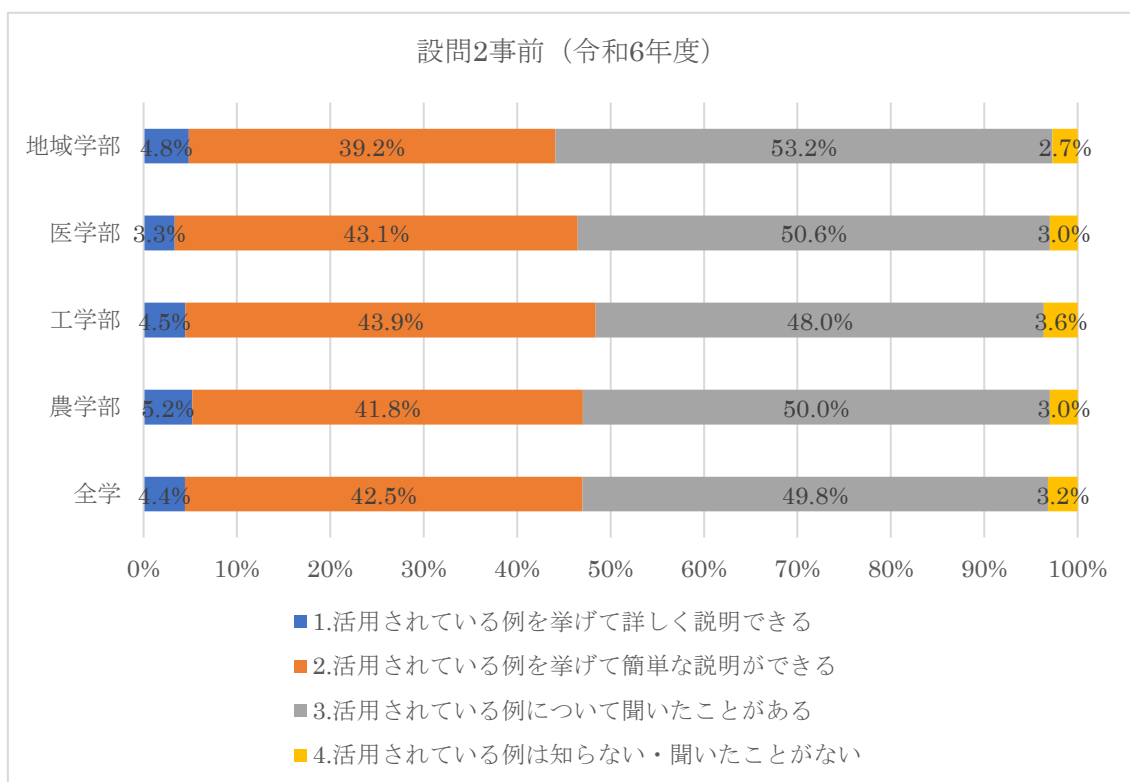
設問 2.

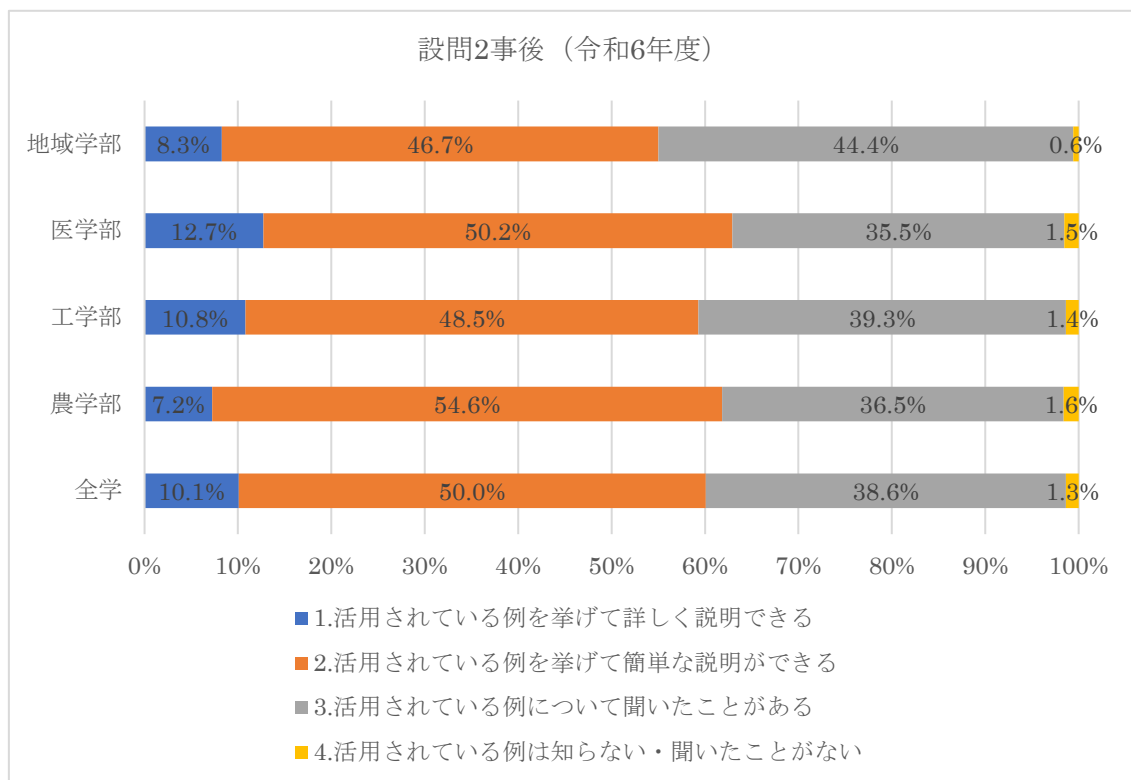
【設問 2 事前】

	1. 活用されている例を挙げて詳しく説明できる	2. 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる	3. 活用されている例について聞いたことがある	4. 活用されている例は知らない・聞いたことがない
地域学部	4.8%	39.2%	53.2%	2.7%
医学部	3.3%	43.1%	50.6%	3.0%
工学部	4.5%	43.9%	48.0%	3.6%
農学部	5.2%	41.8%	50.0%	3.0%
全学	4.4%	42.5%	49.8%	3.2%

【設問 2 事後】

	1. 活用されている例を挙げて詳しく説明できる	2. 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる	3. 活用されている例について聞いたことがある	4. 活用されている例は知らない・聞いたことがない
地域学部	8.3%	46.7%	44.4%	0.6%
医学部	12.7%	50.2%	35.5%	1.5%
工学部	10.8%	48.5%	39.3%	1.4%
農学部	7.2%	54.6%	36.5%	1.6%
全学	10.1%	50.0%	38.6%	1.3%





設問 3.

【設問 3 事前】

	1. 必要不可欠である と思う	2. 必要不可欠ではな いが役に立つと思う	3. あまり関係ないと 思う	4. 分からない
地域学部	39.8%	56.5%	2.2%	1.6%
医学部	50.2%	42.8%	3.7%	3.3%
工学部	49.5%	44.6%	2.1%	3.8%
農学部	45.9%	45.9%	4.1%	4.1%
全学	47.3%	46.3%	2.9%	3.4%

【設問 3 事後】

	1. 必要不可欠である と思う	2. 必要不可欠ではな いが役に立つと思う	3. あまり関係ないと 思う	4. 分からない
地域学部	49.7%	45.0%	3.6%	1.8%
医学部	61.0%	35.9%	1.9%	1.2%
工学部	52.8%	42.9%	2.3%	2.1%
農学部	53.4%	41.4%	4.4%	0.8%
全学	54.4%	41.2%	2.9%	1.5%

